

使用ツール

MetaMoji Classroom

活用シーン

- 個人で追究してきたことをMetaMoji Classroomで立場ごとに整理し、自分の考えを仲間と共有する。「様々な立場で和紙を作る理由はあるけど、和紙の体験に参加する人はあまり増えていないから、この先どうなってしまうのかな」と問うことで、自分自身の県内の伝統技術との関わり方を考え、思考を深める場を位置付ける。

子供の姿・授業の様子、成果等

- 立場による考えの違いに着目して、美濃和紙の生産に対するそれぞれの思いを捉え、その働きを考える姿があった。

「はじめは使ったことがなかったし、きっと職人さんたちがこれからも作ってってくれると思っていたけど、私も手紙を書くときとか和紙でできたものを選びたいと思った。」



観光協会
4000人から10万人
美濃市に多くの人々が来ている
→手すき和紙で多くの人に、
美濃市のみ力を知ってもらいたい

後継者の人
全国を回る
理想の和紙
伝統 技術を残したい
→手すき和紙を残したい
よさを伝えたい

紙でいいのになぜ、和紙を作るのか

澤村正さん
70年続けてきた
もっと紙を作りたい
弟子が3人
→自分もっている技術をこの
先の未来に残していきたい

わたし
今まで使ったことがない
すごい技術
これからも残ってほしい